

# ノリタ光学跡地に 太陽光発電施設を

**答** ノリタ光学跡地は汚染土壌を除去しなければ立入りもできず、使えない土地であり、現時点での活用はできない。

なか、国でも再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が7月から始まる。このこ

とを受け、ノリタ光学跡地に太陽光発電施設を設置し、エネルギーの自給自足に取り組むことが時代にあつた活用方法かと思われます。売電による新たな財源確保、公共施設での活用等いろいろの可能性が考えられ



もろ た たもつ  
師田 保



ノリタ光学跡地

**問** 施政方針でノリタ光学跡地の汚染土壌の処理を行う方針を検討し、自ら先頭に立つて企業誘致を進めるという方針を示されたが、汚染土壌の処理には多額の経費がかかること、国の方針が企業誘致を東北の震災地に向けていることから、現実的にノリタ光学跡地への企業誘致は、当面難しい。「脱原発依存」の世論が進む

るので、ぜひともノリタ光学跡地を活用した太陽光発電施設の設置を検討願いたい。

**答** 法改正で環境の基準が年々厳しくなり、ノリタ光学跡地は汚染土壌を除去しなければ立ち入り

## 三国、三俣地域の小学校と 地域の連携事業の 小学校統合後の方向は

**答** 地域の意向を尊重した方向の体制づくりを検討している。

**問** 三国、三俣地域は小学校の運動会、文化祭、スキー大会等の学校行事をはじめとして、いろいろな学校活動を地域と連携して実施し、このことによって子供達と地域の絆が築かれ、子供達を地域が見守り、地域で育てるといふ成果を生み出してきた。湯沢町統合文教施設の学校教育方針では「地域で愛され、地域で育てる学校」が示されているが、今

もできず、使えない場所となっている。財政事情と相談しながら、なるべく早く汚染土壌の除去を行い、活用を考えたい。県から太陽光発電施設設置に提供できる土地の調査があり岩原、奥添地、加山スキー場の町有地を報告した。

まで小学校と地域が連携して育ててきた各種学校行事を通じての地域と子供たちの絆は、学校統合後どのような方向になるのか伺います。

**答** 教育長  
分館長会議で地区館と一緒にやっている事業については、学校統合を踏まえた検討をお願いした。地域の意向を尊重した体制づくりを検討する中で、子供たちの参加が地域を支えている事業には、該当する子供たちには公欠で参加できるように学校統合委員会で検討を進めたい。